

藤山中2022年 新たな挑戦のスタート！

新年度が始まり一ヵ月半が過ぎました。1年生も中学校生活に慣れ元気に活動しています。新しい制服もとても素敵です。2、3年生は先輩として藤山中学校の伝統を引き継ぎ、落ち着いた学校生活を送っています。特に授業への集中力が高まったことが大きな進歩です。さて、今年度も新型コロナの影響を受け、育友会の総会が書面決議となりました。残念ながら皆様に直接お話ができません。「現状維持は退化である」との信念からこの紙面を通じて今年度の新たな取組（挑戦）についてお知らせします。

★「学校教育目標」の改定 「皆が生き生きと活動する学校」



「自ら学び、心豊かに
たくましく生きる生徒の育成」

□学力向上への取組

- ①少人数加配教員の増員による少人数指導の充実
 - ・1年生英語科におけるTT指導の実施
 - ・2、3年生数学科における習熟度別授業の実施（発展コースは「反転授業」）
- ②夕学・週末学習課題の充実
 - ・時間の拡大（5→10分間へ）
 - ・やまぐち学習支援プログラム等の活用

□不登校傾向のある生徒への対応

- ①「校内ふれあい教室」の効果的な活用（教育支援員の常駐）
- ②オンラインによる授業配信

□地域連携の活性化への取組（裏面参照）

- ①各自治会の環境整備活動への参加「地区別生徒会活動」の実施
- ②地域元気応援隊のさらなる活動



□教職員の働き方改革のさらなる推進

- ・デジタル化（健康観察・職員連絡）、校時表の変更、総下校時刻の繰上、毎週水曜日はノー部活動

1学期の体験学習＜校外＞の予定

今学期の大きな学校行事として、校外での体験学習があります。新型コロナの感染状況を考慮しながら、現時点では次のような日程で実施します。

- ◇1年生 「自然教室」1日目（油谷青年の家）5月30日（月）カッター訓練他
2日目（恩田運動公園） 31日（火）10km遠足、手旗訓練、学級企画
- ◇2年生 「社会見学」（北九州方面） 5月31日（火）エコセンター、ミュージアム見学
- ◇3年生 「修学旅行」（京阪神方面） 5月29日（日）～31日（火）、6/1振替休日

県体出場 がんばって！

市内予選を勝ち抜いて、以下のチームが今月21、22日に開催される県大会に出場します。宇部市代表として全力でプレーをお願いします。全校挙げて応援しています。

＜団体＞ サッカー部、卓球部男女、ソフトテニス部男女

＜個人＞ ソフトテニス男女、卓球部男女、硬式テニス、陸上競技、バドミントン、水泳



★「藤山ヤング自治会」結成★ 「春の清掃活動」にぼちぼち参加！

本年度より、全校生徒を対象に中学生版自治会「藤山ヤング自治会」を結成しました。5月の半ばより、活動を開始し、5月14日（土）・15日（日）に行われた地域清掃に数名の生徒が参加しました。その際、「中学生に手伝ってもらったら、うれしいし、本当に助かるよ」と近所の方に声をかけられた生徒は、照れながらも、嬉しそうに教員に報告していました。地域の一員としての自覚が芽生えたようです。今後も地域の一員として、清掃活動に積極的に参加できるように学校からも呼びかけていきたいと考えていますので、お子様を誘って参加していただくと幸いです。

★地域元気応援隊★ 「鵜の島地区体育祭」参加！

5月15日(日)に鵜の島地区体育祭が鵜ノ島小学校で行われました。よちよち歩きのお子さんから高齢の方まで、幅広い世代の方と触れ合いました。本校からは13名の隊員が参加し、競技の案内をしたり、ゴールテープをもって着順をコールしたり、誘導したり、参加賞を渡したりしました。また、小学生や小さなお子様とペアを組んで競技に参加し、よい出会いとなりました。また、プログラムがスムーズに進むように、進んで仕事を見つけて積極的に行動したり、地域の方に気を配って声かけをしたりする姿が見られました。地域の皆様がよく声をかけてくださったお陰で、隊員も伸び伸びと気持ちよく活動することができたと思います。閉会式では鵜ノ島小学校出身の隊員が代表してあいさつをし、「地域の皆さんが優しく接してくださったので、たくさん活動でき、良い経験となりました。また、参加したいです。」と述べていました。地域の皆様から「地域を元気にしてくれた」と感謝され、やりがいを感じた行事となりました。本年度も、地域をどんどん元気にしていけるように活動していきたいと考えています。今週末には「藤山地区運動会」にも参加する予定です。



★厚東川の日★ ～藤山中はSDGsに取り組みます～

本校では、5月10日を「厚東川の日」と設定して、厚東川周辺の清掃活動を毎年行っています。活動を始めて3年目となる今年は、小中連携の一環として、藤山小学校の児童と協力して活動に取り組みました。この日、1年生は学校周辺の通学路、2年生は新琴川橋付近、3年生は中川河口周辺で作業をしました。生徒は火ばさみを片手に、ポリ袋がいっぱいになるまで懸命にごみの収集活動に取り組み、昨年を上回る20kg以上の可燃ゴミやペットボトル、空き缶、発泡スチロールなどを集めました。この結果、生徒も達成感を得ることができたようです。今後もSDGsの視点から、中学校だけでなく、地域とも連携しながら、持続可能な地域社会の実現に向けて取り組んでいきたいと思っています。

